南大和グループ広報誌 | MinamiYamato Group Public Relations Magazine
TAKE FREE
2025.10
92

みなみやまと

特集1 特定健診・がん検診
特集2 市民講座開催報告 ： 転ばぬ先の一歩！転倒予防

表紙の人
南大和病院公式キャラクター
みなっち

2015年に誕生して以来、皆さんに親しまれてきた「みなっち」が、10年の時を経てより親しみやすくリニューアルしました✨
これからも病院の元気と安心をお届けする存在として、みなさんに寄り添っていきます。

こんにちは、ぼくはみなっち！
病院の近くの野菜の畑に住む、緑のふ鳥だよ。
みんなの健康を応援するのが、ぼくの役目。
これからもよろしくね！

好きな食べ物 ・栄養部がつくる美味しい食事
・ずんだもち
口癖 「けんしん、いくっち！」

information

大和市・綾瀬市にお住まいの方へ
インフルエンザ予防接種 今年も始まりました！

10月1日より、インフルエンザ予防接種を開始します。インフルエンザは、毎年流行を繰り返す感染症です。発症や重症化を防ぐためにも、接種を受けることを強くお勧めします。必ず事前に電話予約をしてご来院ください。

【接種場所】
・南大和病院
・南大和産婦人科クリニック

ご予約はこちら
046（269）5000

【インフルエンザ予防接種料金】
一　般 …… ： 3,000円（税込）
シニア（65歳以上） ： 2,000円（税込）
※65歳以上の方でお住まいの大和市・綾瀬市以外にお住まいの方もシニア価格で接種いたします。また、お住まいが65歳以上の方であっても、大和市・綾瀬市以外の方は一般価格となります。
※詳細は当クリニックのホームページをご確認ください。

綾瀬市にお住まいの方へ
相模いずみ野線 いずみ中央駅直結 いずみ中央駅ナカクリニックのご案内

いずみ中央駅ナカクリニックでは、インフルエンザ予防接種を実施しております。フルエンザ予防接種を希望される患者様、病みが少ないインフルエンザワクチン「フミスコット」も用意しております。

診療内容は下の通りです。
●診療・検査
●特定健診・綾瀬市健診
●特定健診・綾瀬市健診がん検診
今年度健康のためにぜひご利用ください。

また、当クリニックでは下の健診・検査を受けていただけます。
●胃カメラ
●大腸がん検査（便潜血検査）
●肺がん検査（マンモグラフィー）
●子宮がん検査（細胞診）
●骨粗しょう症検査（骨密度検査）
●ピロリ菌検査
●ABI検査（血管年齢検査）
●ED検査
●ED治療
●AGA治療
●ED・AGA相談
●禁煙外来
●ワクチン接種
●ED・AGA相談
●禁煙外来
●ワクチン接種

ホームページはこちら
URL https://www.minamiyamato-hosp.or.jp/
045（800）1711

読者アンケートのお願い

南大和グループ広報誌「みなみやまと」をご覧頂いただきありがとうございます。当広報誌は地域密着と医療・健康情報をわかりやすくお届けすることを目的に編集しております。今後の広報づくりの参考にさせていただくため、ぜひご意見・ご感想を広報にいただけますようご協力をお願いいたします。

1. アンケート回答方法（所要時間1～2分）
WEB フォームにてご回答ください。
URL https://forms.gle/ovmVTUBSSJMZ4ZLD8
2. 郵送
アンケートはがきに必要事項を記入の上、ご郵送ください。

スマホから簡単！

※締切：12月月日（月）まで
皆さんからいただいたお声をもとにより読みやすく役立つ広報誌づくりを目指していきます。どうぞ、ご期待ください。
南大和病院 広報担当

南大和グループ広報誌
みなみやまと
第92号 2025年10月10日発行

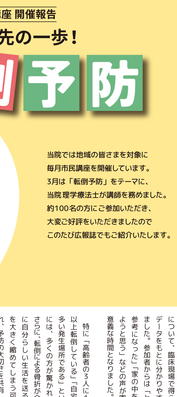
発 行 者：南大和病院
発行責任者：南大和病院 茅野 修史
企画・編集：南大和病院 広報委員会

医療法人社団 新都市医療研究会「新恵会」
南大和病院
〒242-0015 神奈川県大和市下和田1331-2
電話 046(269)2411（代表）
URL http://www.minamiyamato-hosp.or.jp/

南大和グループ
南大和病院／南大和クリニック／南大和高座クリニック
南大和産婦人科／成城学園前駅／南大和高座渋谷駅／ストーリーズ
いずみ中央駅ナカクリニック（相模モール内相鉄いずみ中央駅直結）

特集1 先生に聞いてみよう
特定健診・がん検診

地域の医療を支える南大和病院。通院・入院・在宅医療・健康増進・人材育成を支えています。今回は内視鏡センター長の守田誠医師にお話を伺いました。



守田 誠医（もりた せいし）
総合内科専門医
日本内科学会認定内科医
日本消化器病学会専門医
日本がん治療認定機構認定医
高度専門医認定医
内視鏡学会認定医
難病指定医

がん検診

がんは早期に発見することを目的としました検査です。

●胃がん検診（バリウム・胃カメラ）
胃カメラは希望者のみ
●大腸がん検診（便潜血検査）
●肺がん検診（マンモグラフィー）
●子宮がん検診（細胞診）
※当院で出張診断できます

がんは、早めに気づけることに体へのダメージが少なくなります。治療も切れがよくなります。検査に変りなくて、定期的な検診は自身と家族にとって大切な備えになります。当院は、「経鼻内視鏡」にも対応しております。検査は自身のペースで、ご家族にとって大切な備えにもなります。

また、当院では鼻から入れる細い内視鏡（経鼻内視鏡）にも対応しております。特定健診とがん検診を受けて、これらの定期的な検診は自身のペースで、定期的な検診は自身と家族にとって大切な備えにもなります。

胃がん検診について

私は内視鏡学会の認定医として、これまで内視鏡学会の認定医としてご活躍されました。胃がんは、消化器の病気の症状が出にくく、気づいたときには進行していることもなくありません。

当院の胃がん検診には、バリウム検査と内視鏡検査の2種類があります。その中でも内視鏡は、直接胃の粘膜を観察することができるため、小さな病変や症状が出にくく、気づいたときには進行していることもなくありません。だからこそ、定期的な健診ががんを早期発見のために大切です。

当院の胃がん検診には、バリウム検査と内視鏡検査の2種類があります。その中でも内視鏡は、直接胃の粘膜を観察することができるため、小さな病変や症状が出にくく、気づいたときには進行していることもなくありません。だからこそ、定期的な健診ががんを早期発見のために大切です。

大腸がん検診について

大腸がんは日本でも増えている病気のひとつです。生活習慣病（糖尿病・高血圧・脂質異常症など）の予防や早期発見を目的として健診しております。

●問診（病歴・生活習慣など）
・生活習慣病（糖尿病・高血圧・脂質異常症など）の予防や早期発見を目的として健診しております。
●身長測定
（身長・体重・BMI・腹囲）
・肥満やメタボの評価
●血圧測定
・血圧計でなく平均値を測定
●骨密度測定
（骨粗しょう症）
・骨粗しょう症のリスク評価
●採血
（血・たんぱく）
・貧血・糖尿病・脂質（動脈硬化など）
・生活習慣病リスク評価

特定健診（40～74歳対象）

生活習慣病（高血圧・糖尿病・脂質異常症など）の予防や早期発見を目的として健診しております。

●問診（病歴・生活習慣など）
・生活習慣病（糖尿病・高血圧・脂質異常症など）の予防や早期発見を目的として健診しております。
●身長測定
（身長・体重・BMI・腹囲）
・肥満やメタボの評価
●血圧測定
・血圧計でなく平均値を測定
●骨密度測定
（骨粗しょう症）
・骨粗しょう症のリスク評価
●採血
（血・たんぱく）
・貧血・糖尿病・脂質（動脈硬化など）
・生活習慣病リスク評価

健（検）診、もう受けましたか？

秋は、季節の変り目の時期です。特定健診・がん検診は、自覚症状がないちに病気を発見し、早期治療に繋げることができるメリットがあります。

毎年決まってこの時期に健診を受けることで、自分の健康状態の変化に気づくきっかけとなります。

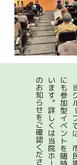
今年度まで健診されていない方は、この機会にぜひご検討されてみてはいかがでしょうか。健康を保つための第一歩として、ぜひ毎日を健康で過ごしていただければ幸いです。

大腸がん検診について

当院の内視鏡センターでは年間三千件以上の検査・治療を行っております。丁寧な検査を心がけています。

検査前の説明では、「胃やその他の部位を小さくさせ病気です。健診・検診を受けることで、今の健康を診断なさるように、ご家族にとって大切な安心のことです。どうぞご、機会に、特定健診やがん検診、そして当院の内視鏡検査をご活用なさいましたいただければ幸いです。

特定健診・がん検診・内視鏡検査
ご予約は046（269）5000まで



南大和病院 消化器外来・内視鏡 外来表

	月	火	水	木	金	土
【消化器外来】 午前 09:00～12:00	守田	真川		真川	守田	深澤
午後 14:00～16:00	真川	守田		非常勤	深澤	
夜間 16:00～18:00	深澤			非常勤		
【内視鏡】 午前(GF) 09:00～12:00	真川	守田	非常勤	3.5時間(4時間)	深澤	3.5時間(4時間)
午後(CF) 14:00～16:00		守田	非常勤	3.5時間(4時間)	深澤	3.5時間(4時間)

GF：上部内視鏡検査（胃ファイバースコープ） CF：下部内視鏡検査（大腸ファイバースコープ）

市民講座 開催報告
転ばぬ先の一歩！
転倒予防

当院では地域の皆さまを対象に毎月市民講座を開催しています。3月は「転倒予防」をテーマに、当院理学療法士が講師を務めました。約100名の方にご参加いただき、大変に好評をいただきましたのでこのたび広報誌でもご紹介いたします。

転倒によるリスク

転倒は、年齢を重ねれば誰にでも起こりうることですが、ちょっとした工夫や習慣でリスクを大きく下げることができます。特別な準備や道具はいらない、日常の中でできる簡単な工夫から始めてみましょう。

今回ご参加いただいた方からは、「今日の話から初めて知ったことがたくさんあった」「家族にも伝えたい内容だった」などの声をいただきました。

講座では、転倒の要因や骨折の主な原因、医療現場で得られる知見や、ご自宅でのケガを防ぐ工夫などをお伝えしました。また、参加者ご自身でできる簡単な体操や、ご家族や大切な方と一緒に取り組むことのできるトレーニングなどの声が寄せられ、有意義な時間となりました。

特に、高齢者の3人に1人が年に1回以上転倒しているなど、日常の中で身近な出来事が大きなリスクとなっていることが改めて共有されました。

また、転倒による骨折は寝たきりや介護状態につながるケースも多く、生活の質（QOL）を大きく損なう要因となっていることが、専門的な視点からお伝えされました。

さらに、転倒による骨折が医療費や介護費に与える影響についても、数値を交えながらご紹介いただき、参加者からは「自分ごととして考えられた」という声が多くあがりました。

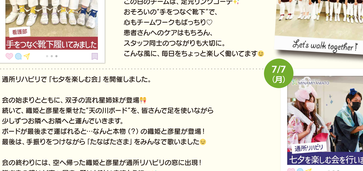
転倒は、ちょっとした工夫や習慣で、ご自宅でのケガを防ぐことができます。難しい特別な準備や道具はいらない、日常の中でできる簡単な工夫から始めてみましょう。

ご家族や大切な方と一緒に取り組むことで、より安心して生活を続けられます。

転倒予防

転倒は、年齢を重ねれば誰にでも起こりうることですが、ちょっとした工夫や習慣でリスクを大きく下げることができます。特別な準備や道具はいらない、日常の中でできる簡単な工夫から始めてみましょう。

ご家族や大切な方と一緒に取り組むことで、より安心して生活を続けられます。



▲講師を勤めた当院理学療法士の重富 颯太さん。

▲ペットボトルのキャップを開けられるか下肢筋力を確認します。

▲椅子に浅く座って脚を伸ばし、膝を触ることができるか柔軟性を確認します。

▲片足立ちチャレンジ！30秒以上立てるかでバランス能力を確認します。

実践できる！転倒予防チェックリスト

講座で紹介した内容を、日常生活にすぐ取り入れられる工夫をまとめました。ご家族や職場でご活用頂ければ、ご家族や職場でご活用頂ければ、ご家族や職場でご活用頂ければ、